

1 学校の沿革

明治34年12月2日、桑山向原に校舎を新築し、万世尋常高等小学校として発足した。
昭和57年度より3ケ年の月日をかけて新校舎を建設する。国道13号線沿いにあった旧校舎から、八幡原工業団地の一角である現在地に昭和60年4月に移転した。校舎は、レンガ風の外壁に囲まれたモダンな鉄筋コンクリート2階建ての建物である。

2 地域の姿

山形県境の南の玄関口として、国道13号線沿いにある本地域は、東北中央自動車道整備工事や、有機EL等の先端技術をはじめとする東北有数の八幡原工業団地をかかえるとともに、桑山住宅団地の造成も進み目まぐるしく変化している。かつての林業・養蚕・畑作中心の農山村から大きく変貌している。万世コミセンを中心に地域の方々や企業の方々も教育に深い理解を持ち、教育に熱意を持っている。

3 学校の特徴

学校のまわりは、自然の景観が美しく、四季の変化がはっきり現れ、ナラ・クヌギ等の雑木林を校地内に持つ。また、八幡原遺跡と呼ばれる縄文時代以降の遺跡、明治14年開通の万世大路・栗子隧道口、伝統芸能の梓山獅子踊り、伝承野菜の梓山大根など自然・歴史・伝統の地域学習素材にあふれている。

また、地域企業体や高校との連携による教育、地域との連携による地産地消などの環境教育の推進を図っている。児童昇降口前には風力発電装置が新たなシンボルになっている。

教育機器も整備され、平成22年にはICT教育用に、PCルームには最新のパソコンが40台、普通教室には52インチのデジタルテレビが設置された。ゆとりと充実した教育活動の展開を図っている。

4 沿革の概要

明治 8 年 堂森 戸田龍音氏宅に 堂森分校	大正 2 年 校歌の制定
明治 9 年 梓山学校設立 (建坪61.5坪)	昭和 16 年 万世村万世国民学校となる
明治 16 年 梓山尋常小学校となる	昭和 22 年 万世村立万世小学校と改称
明治 24 年 万世尋常小学校と改称	昭和 29 年 米沢市立万世小学校と改称
明治 34 年 萬世尋常高等小学校と改称	昭和 60 年 現在地に新校舎完成 入校式
明治 41 年 創立記念式歌の制定	

5 歴代校長

初代 桜田 市弥 明 18	第16代 伊藤 正 昭 34	第31代 辻 雅人 平 22
第2代 佐野吉乃助 明 41	第17代 駒沢 清助 昭 36	
第3代 堀部弥次郎 大 3	第18代 佐藤 勝 昭 39	
第4代 伊藤佐武郎 大 8	第19代 遠藤 義孝 昭 44	
第5代 大狭 清一 大 11	第20代 戎谷 久 昭 50	
第6代 山本 兵輔 大 13	第21代 金沢 三男 昭 54	
第7代 深沢 定雄 昭 2	第22代 加藤今朝雄 昭 58	
第8代 山田 仁一 昭 5	第23代 内山 章 昭 62	
第9代 中島 利雄 昭 7	第24代 玉上 利恭 平 2	
第10代 高梨吉乃助 昭 9	第25代 長谷川 哲 平 6	
第11代 菊地 周作 昭 11	第26代 後藤 浩 平 9	
第12代 上村新三郎 昭 14	第27代 工藤 修身 平 12	
第13代 杉原辰乃助 昭 16	第28代 小形 義和 平 14	
第14代 越 琢磨 昭 22	第29代 森谷 秀悦 平 17	
第15代 山田 武雄 昭 30	第30代 牛澤 敏宏 平 20	

万世小学校の沿革

明治8年以前	堂森 戸田龍音氏宅に 堂森分校 別に校舎を設けず、1日4・5時間習字等を学ぶに過ぎず。 授業料（上等5円40銭・中等4円97銭・下等4円25銭・等外1円26銭） 経費 教員給料（全員）108円 借家を校舎と定め1名の教師配置
明治9・3・25	梓山学校設立（建坪61.5坪）本校創立の際 梓山 梅津作兵衛宅に借家す。 通学区域 — 梓山村、桑山村、児童数32名
明治10	私就を廃し、就学させようとしたが学齢児童の3分の1に過ぎず。
明治12	教則を改正し土地に適切な学科を取り入れた。
明治14	不就学児童を勧誘して入学させ、保護者も競って入学させようとした。
明治16・4	梓山尋常小学校となる（堂森分校を合併して） 通学区域 — 梓山・桑山・堂森の三か村 児童数 73名 戸数 180戸
明治17	山上学校刈安分校を梓山学校に属せられる。
明治20	授業料を増加したところ児童の就学に減少を見る。
明治21	女子就学を盛んにするため、裁縫科を置く。
明治22	万世村の誕生 梓山村・桑山村・堂森村・金谷村・片子村の五か村が合併して万世村とした。 不就学児童に対し、文字に関する試験を実施す。
明治24	万世尋常小学校と改称 小学校令の発令により、一か村1校としなければならなくなり、金谷・片子の児童も含めて万世尋常小学校とした。大字片子のうち、立沢、山崎の二字の児童を山上尋常小学校に依託する。それまでは、片子の児童は米沢の花沢小学校へ、金谷の児童は東置賜郡の川井小学校に通学していた。
明治25・6・22	桑山分校をおく。尋常科4年、補修科3年 学級数3 萬世尋常小学校と改称
7	刈安分校をおく。
明治27	日清戦争起こる。 教員の辞職転任等頻繁にして授業上非常に困難をきたす。 校長月俸12円 訓導5円（教員5名）
明治28	日清戦争終わる。 校庭に「駐輩の碑」を建立 「万歳の松」を植樹
明治29	本校校舎増築（20坪）就学督促の成果あがる。
明治30	就学生が多くなるも、欠席生徒多くなる。
明治32	高等科設置の建議 万世小学校に高等科がなく、遠く花沢小学校まで通わなければならない状態にあったので、村会議にその設置を求めたが、いったん議決されたものの、村の経済上の理由によって再議の際に否決されるに至った。 小学校を卒業せず、中途退学者のため、「振学会」という夜会を開く。 梓山に伝染病発生 1週間の閉校。
明治33	委員十三名で新校舎の敷地を決定する。
明治34・12・2	萬世尋常高等小学校の誕生。 2月の村会議で、万世村大字桑山字向原に5月1日着工・9月30日落成の計画で新校舎を建築し、萬世尋常小学校と桑山分校を統合して高等科も設置した萬世尋常高等小学校を設置することにした。しかし、校舎が完成する間は、それぞれの校舎で学習せざるを得なかった。 桑山向原に校舎新築 萬世尋常高等小学校と改称 尋常科4年・高等科3年 落 札： 片町 片岡広太氏 建築価格： 2,650円 実質着工： 8月7日（8月28日倒壊） 落 成： 12月2日
明治35	父兄懇話会生まれる。
7・30	体操場新築
明治37	日露戦争起こる。尋常科4年、高等科4年となる。
明治38	日露戦争終わる。
9・22	同窓会を設置する。
12・25	実業、補習学校を本校に附設する。
明治39	本校舎増築（木造二階建100坪）6学級となる。 学校林に落葉松樹栽。
明治40・8・28	洪水のため羽黒川が氾濫し、橋梁破損し、戸板・片子方面の通学児童困難をきわめる。
明治41	尋常科6年・高等科2年となる。 トラホーム患者の治療を本校にて行なう。成績良好なり。
明治41	創立記念式歌の制定 作詞 藤倉祐蔵氏・作曲 宮島慎一郎氏（山形師範教授）
明治42・1・1	「母の会」を組織し、教師と母親が教育懇談会を持つ。
7・21	「学齢児童保護会」を設立し、貧困児童に学用品を給与する。

明治 43	学級数 7 となる。
明治 44	風琴購入 (100 円)
明治 45	南置賜郡の雑記帳展覧会で 2 位となる。 農業実習地設置、屋外に鉄棒を設け、体育奨励に努める。 欠席生徒多く、各集落毎に懇談、出席を奨励する。
大正 2	校歌制定 作詞 藤倉祐蔵氏・作曲 本田宥英氏 父兄懇談を開き、出席の督促をする。 卒業生招集を行なう。
大正 3	第 1 次大戦起こる。1 坪農園を実施
大正 4	毎月 1 回研究授業。2 分間体操、発音方言矯正を隔週に行なう。 集落毎に児童部長を置く。学校林取得 (1 段 4 畝 2 歩) 御大典記念文庫を設立。屋外体操場造成。
大正 5	修学旅行実施 (山形共進会視察)
大正 6	10 分間体操を実施。放課後 1 時間課外体操を 2 年以上実施する。
大正 7	郡内小 6、高 2 の学力一斉考査を行なう。 校内研究会を実施。歴史研究の 1 等賞を受ける。
大正 8	第 1 次大戦終わる。
大正 9	創立 20 周年記念事業。グランドピアノ購入 (1, 500 円) 校旗備付 (母の会)
昭和 5	児童の個性を考慮し自発的活動を尊重する教育を実施。
昭和 6	満州事変起こる。屋外運動の奨励。相撲、水泳、スキー、そり乗り、山登り等を奨励する。
昭和 7	支那事変起こる。便所新築。 南置賜郡学童競技会において優勝
昭和 10	高等科生徒の勤労作業 (薪まるき・稲作実習・野菜販売) 大雪に見舞われる。
昭和 11	未曾有の豪雨の為、児童の手伝いにて防雪、除雪、危機を脱する。(2 月 10 日 校庭 3メートル34) 経済事情逼迫「物的方面ハ全く沈滞ノ外ナク設備改善、教具の新調等ハ消極的ニナラザル得ズ、教員給不渡ヲ生 ジタル有様ナリ」
昭和 13	物資節約、代用品利用、貯蓄運動、労力奉仕等を実施する。 公開教授及び研究発表会を実施。
昭和 14	自学、自習力の増進、技能科成績の向上をはかる。
昭和 15	国民学校経営案の作製に専念する。
昭和 16・4・1	万世村万世国民学校となる。 集団訓練運動の展開。
昭和 17	教室増築。和風二階建 (5 間×12 間) 生産教育を重視し、奉仕作業を実施する。
昭和 18	理科教育の研究会開催。理科・珠算教育の徹底をはかる。
昭和 19	体力の増強、科学の振興をはかる。
昭和 20	大東亜戦争終わる。 国家再建の目標である民主主義、文化平和国家建設に貢献し得る全人教育を行なう。
昭和 21・3・25	南校舎焼失、その跡地に公民館建築。
昭和 22・4・1	万世村立万世小学校と改称。学制改革により新制中学校設置。
昭和 25・10・23	給食調理室 (亜鉛葺き平屋建 13 坪) 新築竣工式。
昭和 26・4・1	父母と教師の会 (PTA) 発足。 郡主催学校給食研究会 県主催体育研究発表会
昭和 27	体操場改築工事着工
昭和 28・10・	体操場 (120 坪)、廊下、便所新築。
昭和 29・10・1	市町村合併により米沢市立万世小学校と改称。
昭和 30・11・16	市教委指定理科指導研究発表会。 中庭に花壇、池設置。
昭和 31	創立 55 周年記念事業実施。
昭和 32	校舎新築。第 1 期工事竣工 (4 教室)。 第 2 期工事着工 (6 教室) 第 3 期工事着工 (3 教室と理科室・管理室)
昭和 33・3	第 2 期工事竣工 市教委指定道徳教育研究校となる。
昭和 33・12・17	校舎改築第 3 期工事竣工 (3 教室と理科室、管理室)
昭和 36	創立 60 周年記念事業 刈安分校に電灯灯る。
昭和 37・6・13	国道 13 号線万世橋より梓山 4 に至る国道の大改修。 安全教育の徹底を図る。(通学道路の設定・通学訓練の徹底)
昭和 37	花壇・教材用池を造る。
昭和 38・10・8	給食室増築。諸設備完成。完全給食実施。

	11・30	刈安分校閉鎖
	12・1	刈安分校冬期分校開設
昭和 39		スクールバス運行（刈安分校閉鎖）
	6・1	児童貯金優秀により貯金局より表彰。
	6・16	新潟地震午後1時4分 学校被害なし。
昭和 40		刈安冬季分校廃止。
昭和 41		創立65周年記念事業 交通事故より子どもを守る連絡協議会発足。
昭和 42・12・15		プール建設促進委員会結成。
	12・26	歩道橋竣工式並びに祝賀会。
昭和 43・11・11		明治100年記念行事実施（公民館と共催）
昭和 44・6・26		東南置賜教育事務所計画訪問。
	7・21	プール竣工式及び祝賀会（補助プール・浄化装置用配管付）
昭和 45・6・10		体育小屋建築完成 3月6日 3月8日 豪雪のため臨時休校。
昭和 46・11・11		米沢市教育委員会委嘱公開研究発表会（特別活動 「学級指導」）
	7・10	岩石園完成
	12・2	創立70周年記念式典並びに祝典。
昭和 47・8・24		交通安全優良校として県知事表彰を受ける。 プール浄化装置完成
	10・10	全日本よい歯の学校の表彰を受ける。
昭和 48・5・21		梓山三 1・2年スクールバスにて登下校開始。
	6・21	片子児童 スクールバスにて登校。
	10・9	学校安全優良校として、県教委・全日本安全協会より表彰。 ビツキ石スキー場整備完了。
	2・21	よい歯の学校の表彰。
昭和 49・6・16		ビツキ石スキー場の拡張（ジャンプ台の建設）
昭和 50・6・1		校内無人化となり、警備員が配置される。 創立75周年並びに梓山学校建立100周年記念事業（校歌の掲額）
昭和 52		歩道の新設
昭和 53・6・27		東南置賜教育事務所の計画訪問を受ける。
昭和 54・8・18		便所の修理工事完了。
昭和 55		学級増に伴い校地西側にプレハブ校舎四教室（家庭科室・図工室・音楽室・資料室）と駐車場設置。
昭和 56・12・2		創立80周年記念事業並びに万歳の松100周年記念式典を盛大に挙行。
昭和 57・6・20		市PTA 親善母親バレーボール大会事務局担当（万世小チーム三位入賞）
昭和 58・8・1		新校舎工事着工 8月8日 地鎮祭1月20日 上棟式。
	10・12	市教育委員会委嘱研究発表会（学級会指導）
	2・25	小さな芽キャンペーン学校賞。
昭和 59・1・20		新校舎第1期工事竣工。
	3・26	新校舎への移転作業終了。
	11・26	新校舎屋内体育館竣工。
	12	米沢市八幡原五丁目3948-4に新校舎完成。
昭和 60・1・18		新校舎第2期工事竣工。
	4・6	新校舎入校式
	5・4	旧校舎お別れ式
	10・16	新校舎北側に、松・檜・ひばの植樹。
	10・20	新校舎竣工式及び祝賀会。ランドピアノ購入（昭和会）
昭和 61・9・30		国旗掲揚塔、体育用プレハブ小屋、ランドフェンス設置。
昭和 62・8・20		新プール竣工 8月21日 新プール引き渡し式・プール開き
昭和 63・10・25		県国語研究協議会公開授業
昭和 63		学校林を「どんぐり林」、グラウンドの小山を「わんぱく山」と命名する。
	5・26	愛鳥週間にちなみ、巣箱35個を作り取り付ける。
平成元年 2・25		小さな芽キャンペーン学校賞。
平成元年		市小学校陸上記録会400mリレー男女優勝（記録 男子55秒4・女子57秒4） 県少年少女陸上大会女子400mリレー第2位
	10・4	市教委委嘱公開研究発表会（国語科学習指導法 ― 音読・視写を意図的に組み入れた授業を通して ―）
平成 2・4・1		ボランティア事業協力指定校となる。（事業として「万世園」を慰問。2年継続） 市PTA 親善野球大会で初優勝。 小さな芽キャンペーン学校賞。 よい歯の学校賞。
平成 3・2・23		小さな芽キャンペーン学校賞。
	11・8	東南置賜教育事務所の計画訪問校。
	12・2	創立90周年記念式典・祝賀会を挙行。

	記念事業
	・ジヤングルジム・すべり台の設置
	・下敷き（航空写真、全校児童顔写真）の作成
	・90周年記念誌の発行
	・絵画2点寄贈（遠藤賢太郎氏、今泉清氏）
平成 4・2・23	プレハブ教室（2教室）増築。
7	PTA 主催バザー実施。
10・22	学童貯金会東北郵政局長賞受賞。 よい歯の学校賞表彰。 県福祉協力校の指定を受ける（2年継続）
平成 5・4・1	県ボランティア推進校。
7	交通安全優良校県警察賞受賞。
8	相撲場造成
12	県よい歯の学校として「努力賞」受賞。
平成 6・5・31	東北郵便局長表彰（貯蓄思想の高揚に対して） PTA 広報「萬世」が学校新聞発表会で入選。 市 PTA 親善母親バレーボール大会で1位に輝く。
平成 7・3	プレハブ教室（1教室）増築。
8・26	本校男子400mリレーチーム、全国小学生陸上交流大会に出場（記録52秒80）
平成 8・10・6	本校女子400mリレーチーム、県少年少女スポーツ交流大会に出場。（決勝 第6位 記録57秒80）
8	日本標準「学校賞」受賞。
10	創立95周年記念事業・記念コンサート ・全校群読。
平成 9・4	学区編成替えにより、東部小へ片子地区児童約100名転出。
10・7	米沢市教育委員会委嘱公開研究発表会（国語科）
平成 10・4	栽培クラブ（学校畑）発足。
平成 11・8・23	創立100周年実行委員会発足。
10・4	平成11年度 優良こども郵便局中央表彰受賞。
平成 12・4・1	スクールバス廃止により、市民バスに移行する。
10・21	PTA 広報誌「萬世」 県 PTA 会長賞受賞。
11・6	米沢市福祉協議会より「福祉教育協力校」として感謝状を受賞
平成 13・2・9	青少年読書感想文全国コンクール学校賞受賞
10	創立100周年記念式典・祝賀会を挙行
平成 15・4	県教委「PTA 活性化モデル事業推進校」 県教委「環境教育推進校」
平成 16・4	交通安全優良学校 全国表彰
平成 17・4	「あいさつ運動推進学校」指定
10・7	米沢市教育委員会委嘱公開研究発表会（国、算、図、体、道）
10・18	山形県統計グラフコンクール 優秀学校賞受賞
11	実習畑完成（学校林の東隣に）
平成 18・3・31	放送室機器設備更新
11	万世園に車椅子1台寄贈
平成 19・4	福祉教育推進校指定
11	山形県健康推進学校優秀校表彰
平成 20・6・28	山形県小学生陸上大会 女子走り幅跳び優勝（全国大会出場） 女子800m優勝（県小学生新記録）
10	山形県少年少女スポーツ交流大会女子800m優勝
平成 21・2	米沢児童文化奨励賞受賞6年「梓山獅子踊り」保存・伝承活動
平成 21・7	置賜教育事務所計画指導訪問 山形県小学生陸上大会 女子800m優勝（県学童新記録） 男子ボール投げ準優勝 山形県小学生スポーツ優秀賞受賞 6年女子
平成 22・2	昭和60年度卒業生 瀧澤弘臣氏が日本代表としてバンクーバーオリンピック出場（男子スキークロス）
3	52型デジタルテレビ全教室設置、パソコン新規導入設置（校務用7台、児童用40台）
10	県交通安全県民大会で6年生による「梓山獅子踊り」発表
11	市花壇コンクール優秀賞
平成 23・2	よい歯の学校表彰
3.11	午後2時46分東日本大震災
4	3.11 東日本大震災にともなう福島県からの区域外就学児童40名超受入。年度計では100名超、最大時80名在籍。 市・県教委・市・県議会等の視察が相次ぐ。劇団カップ座、国立能楽堂、トリオ・アラモーレなど激励公演実施
12.2	創立110周年記念式典、記念演奏会（県警音楽隊）、記念祝賀会を挙行
平成 24・4	3.11 東日本大震災にともなう福島県からの区域外就学児童64名在籍
5	劇団四季 東北特別招待公演「ユタと不思議な仲間たち」開催